

第1回 国土数値情報 オープンデータラウンドテーブル
「より開かれた・使われる国土数値情報に向けて」
2025年3月7日開催

○ゲスト一覧（敬称略）



株式会社ネットデータ 代表取締役 松岡 明

岡山大学工学部情報工学科卒、同大学院在籍中にネットデータを起業。グループ会社である不動産会社ウェブハウスの取締役も兼務し、専任の宅地建物取引士として営業実務に携わりながら不動産仲介業のDXに長年取り組む。自身の仲介実務経験から生まれた「土地バンク」は、不動産・建築併せて全国1,000社以上採用。不動産業とは情報ビジネスで、実はITと親和性が非常に高い業界であり、不動産×ITを熟知している我々であればもっと業務効率を改善できるはずだと考え、日々、現場目線のITシステムを開発中。



株式会社 GA technologies Product Management

－ / Advanced Innovation Strategy Center

General Manager 橋本 武彦

株式会社ブレインパッドで主にマーケティング領域のデータ分析、ならびにデータサイエンティスト育成の新規事業や一般社団法人データサイエンティスト協会の立ち上げに従事。2017年より株式会社 GA technologies に入社し、Advanced Innovation Strategy Center(旧 AI 戦略室)の立ち上げに参画。現在は不動産データの整備や渉外を担う。※電通大 客員准教授、滋賀大データサイエンス学部 インダストリアルアドバイザー、国交省不動産 ID ルール検討委員（R3年度）、など

鳥取大学 農学部 生命環境農学科 里地里山環境管理学コース 教授
一般社団法人 OSGeo 日本支部 代表理事 岩崎 亘典



東京都立大学理学部地理学科を1995年度に卒業、東京工業大学総合理工学研究科を2001年度に修了し、博士（理学）を取得。2002年から2023年まで農業環境技術研究所・農研機構に所属し、GISを用いた関東地方の歴史的土地利用変化の研究に従事。2024年より鳥取大学農学部教授として、里地里山の環境管理におけるGIS活用の教育・研究を推進。

また、オープンソースGIS「FOSS4G」の普及活動に取り組み、2007年よりOSGeo財団日本支部に参加（2021年法人化）、2018年から代表理事を務める。受賞歴として、2012年に第一回国土地理院電子国土賞コンテンツ部門、2019年に地理情報システム学会賞（実践部門）をOSGeo日本支部として受賞。



株式会社 MIERUNE 執行役員 CTO 井口 奏大

立教大学経済学部卒。就職した市役所の業務で GIS に触れたことをきっかけに、位置情報の世界に入門。その後、北海道札幌市の株式会社 MIERUNE にて GIS エンジニアとして従事。オープンソース開発の傍ら、技術系イベントでも多く登壇。MapLibre User Group Japan の運営メンバー。著書『現場のプロが教える 位置情報エンジニア養成講座（秀和システム）』『現場のプロが教える 位置情報デベロッパー養成講座（秀和システム）』

○モデレーター



一般社団法人不動産建設データ活用推進協会 代表理事 桜井 駿

みずほ証券株式会社、株式会社 NTT データ経営研究所を経て株式会社デジタルベースキャピタルを創業。「産業を創る。」をミッションに産業変革、規制改革領域の投資、アドバイザリー業務に取り組む。2023年4月、一般社団法人不動産建設データ活用推進協会を設立、代表理事に就任。官民連携における DX 推進にも取り組む。

主な著書に、「プロップテックの衝撃」（日経 BP）、「決定版 FinTech」（共著、東洋経済新報社）、「知識ゼロからのフィンテック入門」（幻冬舎）等。

○ ディスカッションテーマ

1. 自己紹介

- ・ 自己紹介及び国土数値情報の活用状況の紹介

2. 国土数値情報の活用類型・活用領域

- ・ 民間プロダクト、サービスにおける国土数値情報の活用目的・活用状況
- ・ 国土数値情報が、現在活用されている、今後活用されうる、領域・事例・効果（コスト削減、付加価値創出等）

3. 未来：国土数値情報に期待すること・役割

以上